

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

以下、本文-----

## 大型—巨大破裂脳動脈瘤の転帰予測因子と最適な治療法の解明に関する研究

### 1. 研究の対象

2000年1月～2019年12月に脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血を発症し当院に入院された方のうち、破裂動脈瘤の最大径が10mm以上の方

### 2. 研究目的・方法

大型—巨大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の治療は困難であり、転帰は一般的に不良です。しかしながら大型—巨大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の転帰不良リスク因子（サイズ、場所、ネック径、治療法）については不明の点が多いです。大型—巨大破裂脳動脈瘤では、サイズの小さな動脈瘤と比べて治療方法が複雑である傾向があり、それゆえに治療法の発展や適切な治療の組み合わせによって転帰が改善する余地があります。本研究は、高知大学を含む多施設のくも膜下出血登録研究（POST-SAH研究）に一部追加したデータを用いて、大型—巨大破裂脳動脈瘤の治療方法を含めた転帰規定因子を明らかにすることを目的にします。

研究期間は、当院倫理委員会承認日より2024年12月31日までとします。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、発症様式、動脈瘤の部位とサイズ、治療方法、転帰 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

福田 仁	高知大学医学部 脳神経外科	准教授
上羽 哲也	高知大学医学部 脳神経外科	教授
井川 房夫	島根県立中央病院 脳神経外科	部長
塩川 芳昭	杏林大学医学部 脳神経外科	主任教授
反町 隆俊	東海大学 脳神経外科	教授
村山 雄一	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座	主任教授

栗田 浩樹	埼玉医科大学国際医療センター脳神経外科	教授
大熊 洋揮	弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科学講座	教授
中原 一郎	藤田医科大学医学部脳卒中科	教授
川俣 貴一	東京女子医科大学 脳神経外科学講座	講座主任
沈 正樹	倉敷中央病院 脳神経外科	主任部長

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1、TEL: 088-880-2397

本件担当者：高知大学脳神経外科 福田 仁

研究責任者：高知大学脳神経外科教授 上羽 哲也

研究代表者：高知大学脳神経外科 准教授 福田 仁

-----以上